

たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	6	戦略番号	1	戦略の方向番号	(3)	事業名	小中連携教育の推進(立川市民科)																		
対応する戦略名	1. 世代を超えて選ばれる、選ばれ続けるまちをつくる																								
対応する戦略の方向	(3)児童・生徒のまちへの愛着を醸成するため、多様な郷土学習を通して、郷土「立川」の優れた文化や伝統に対する理解を深め、地域の行事や活動等に主体的にかかわることにより、郷土を愛する心を育てます。																								
事業概要	義務教育9年間における多様な郷土学習を通して、郷土「立川」の優れた文化や伝統等を理解し、児童・生徒のまちを愛する心や態度を養います。																								
事業実施状況	中学校区を単位とし、生活科、総合的な学習の時間等において実施している「立川市民科」にて、「立川調べ」「農業体験」「防災教育」等、地域やまちを題材とした学習活動や中学校区ごとの創意工夫ある教育活動を実施した。																								
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)																								
	指標名		東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査(質問紙調査)における社会貢献の設問で肯定的な回答をした児童・生徒の割合																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>戦略策定時の値 (25年度)</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>31年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>小学校 90.6 中学校 86.6</td> <td>小学校 75.1 中学校 84.0</td> <td>小学校 73.6 中学校 84.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>小学校 95.0 中学校 90.0</td> </tr> </tbody> </table>		単位										戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値	%	小学校 90.6 中学校 86.6	小学校 75.1 中学校 84.0	小学校 73.6 中学校 84.2	-	-	小学校 95.0 中学校 90.0	
単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値																			
%	小学校 90.6 中学校 86.6	小学校 75.1 中学校 84.0	小学校 73.6 中学校 84.2	-	-	小学校 95.0 中学校 90.0																			
教育課程に「立川市民科」を位置付け、中学校区において義務教育9年間における多様な郷土学習を通して、郷土「立川」の優れた文化や伝統、産業やまちづくり等を理解することができた。また、すすんで地域やまちの行事や活動等に関わることにより、郷土やまちを愛する心情や態度、優れた伝統や文化の継承とまちの発展、創造に貢献する力を育成する一助となった。																									
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	中学校区ごとの「立川市民科」における特色ある取組を、全中学校区における「立川市民科」として体系付けること、また、中学校区における小学校同士、小学校と中学校との連携をさらに進め、義務教育9年間において系統立てた「立川市民科」の推進を図っていくことが課題である。																							
	平成29年度	中学校区ごとの「立川市民科」の取組を推進するとともに、教育委員会において、「立川市民科」の体系化を図り、立川市に愛着をもち、主体的にまちに関わり、まちに貢献しようとする児童・生徒の育成を推進する。																							

『たつち』は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

立川市教育だより たつち

たつちの発行は年3回です。次号の発行は平成29年6月10日です。

◎今号の主な内容
2面 … けやき台小学校と若葉小学校の統合
「特別支援教室カリラリ」が8校増え
て16校になります
3面 … 教育委員の再任について
平成28年度教育委員会表彰
4面 … 立川教育フォーラム開催
学校支援ボランティア募集
編集・発行／立川市教育委員会
〒190-8666 立川市泉町1156-9
☎042(523)2111(市役所代表)
立川市ホームページ
<http://www.city.tachikawa.lg.jp/>



第32号
平成29年(2017年)
年3回発行



地域の保育園児・幼稚園児への児童による読み聞かせ



「大好き立川」児童自らが発案した地域の清掃活動

市内各校の
取り組み

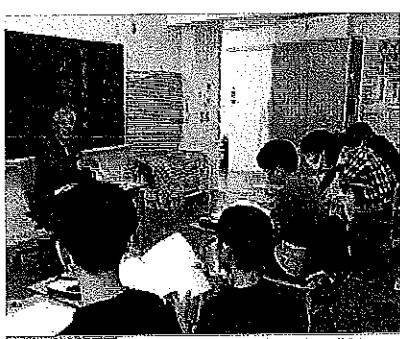


立川第一中学校
地域の畑に出向いて農業体験

小中学校の新しい学び 「立川市民科」って何?!



まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ児童・生徒
まちと主体的に関わり、まちに貢献しようとする児童・生徒の育成を目指します



地域の方による戦争体験の講話



市内書店の店員さんによるブックトーク



地域防災訓練の救命講習

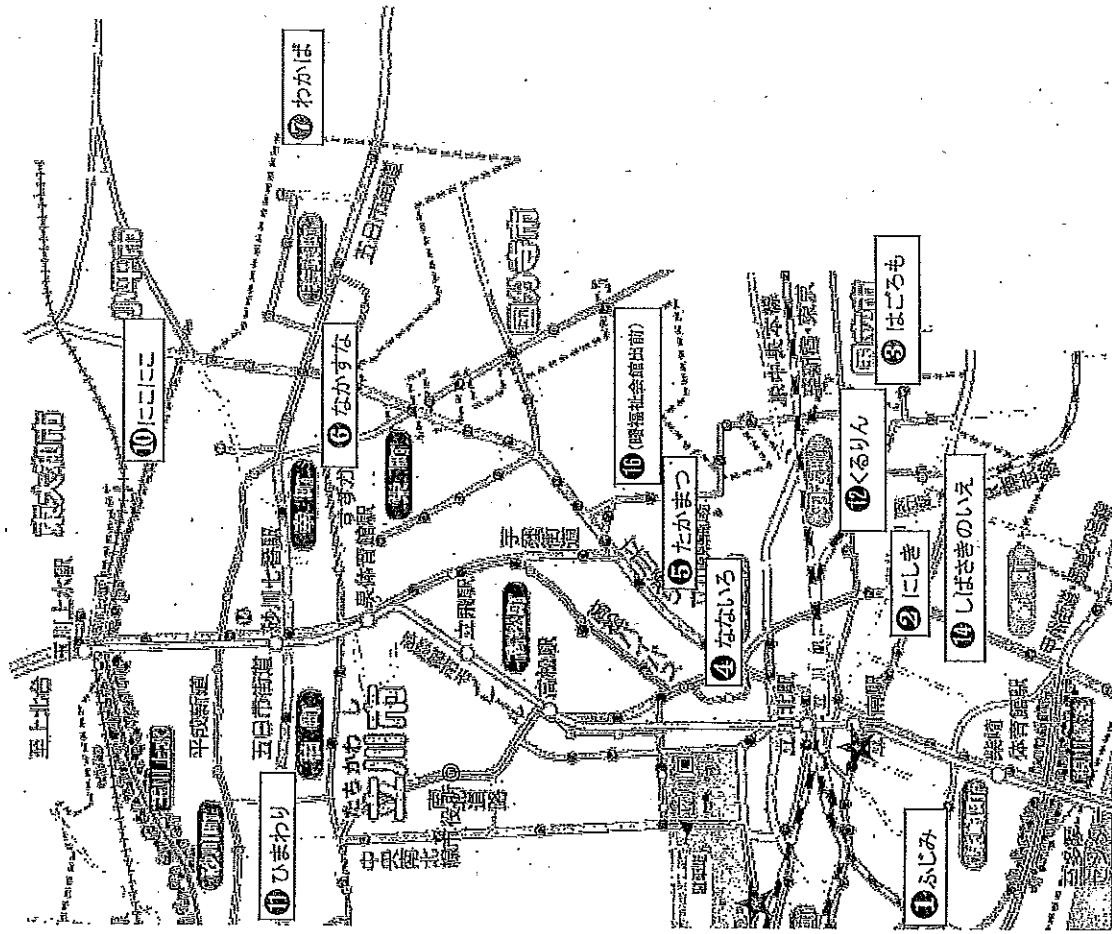
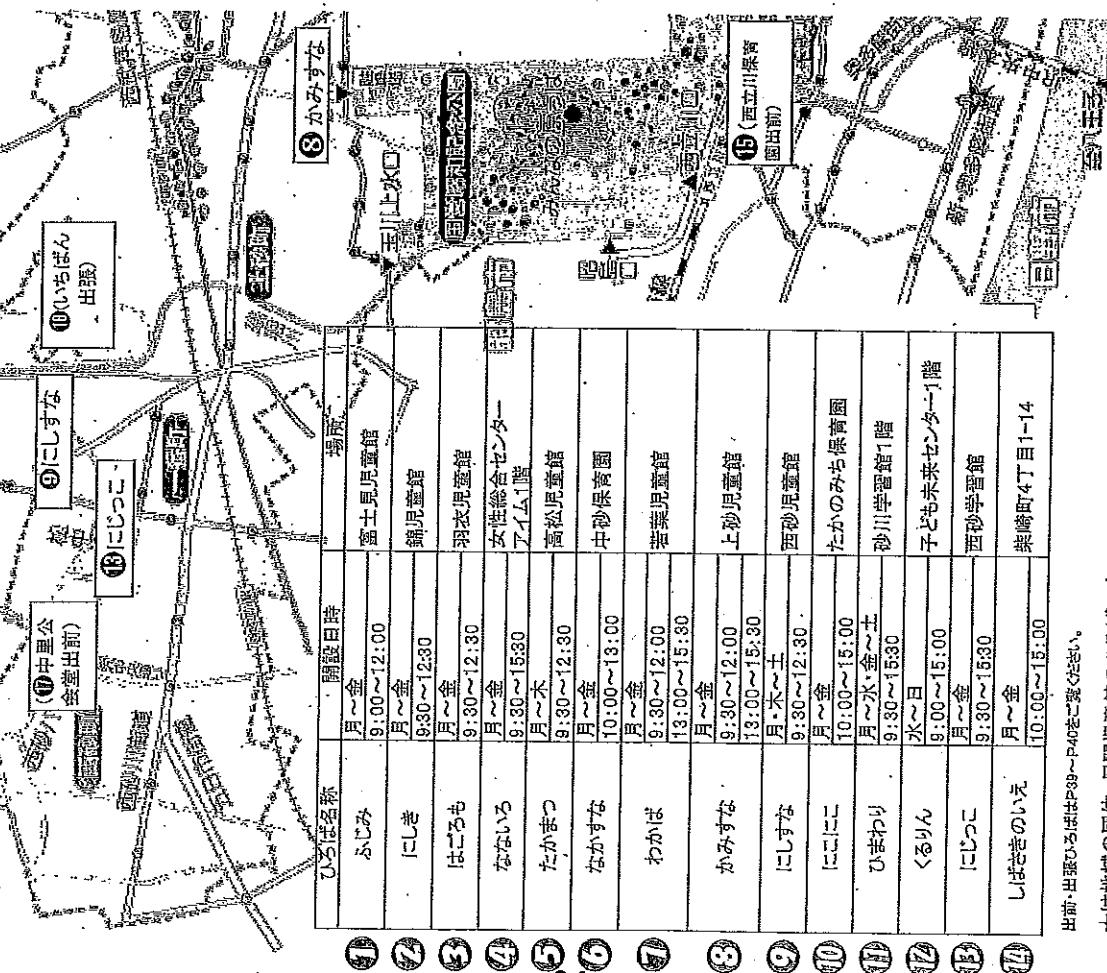
「立川市民科」とは
立川市は大型商業施設をはじめ、多くの事業者が集積する業務商業都市として発展してきました。一方、都市化の進展に伴い、年間約1万人もの市民が転出入する、人の動きが大きな都市となっています。そこで懸念されるのは人と人とのつながりなど、地域コミュニティの希薄化です。このような中、立川市では、子どもたちが未来の立川市を担う「市民」として、地域について学び、関わり、貢献することの大切さについて学ぶことが重要であると考え、「立川市民科」を市内小中学校全校で取り組むこととしました。
「立川市民科」は、立川市の教育目標にも掲げている「社会のために役立とうとするひとづくり」「歴史や伝統文化を継承し発展させるひとづくり」の具現化を図るために、教育課程に位置付けて実施しています。

中学校区ごとの地域特性を生かして行われる義務教育9年間における「立川市民科」の多様な学習を通して、児童・生徒は、郷土を通じて、児童・生徒は、郷土「立川」の優れた文化や伝統、産業やまちづくり等に対する理解を深めます。また、体験学習の中で地域の行事や活動等に関わることにより、郷土を愛する心情や態度を養い、未来をひらくまちづくりや新しい文化の創造の担い手となる「立川市民」の育成に取り組んでいます。

たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	7	戦略番号	2	戦略の方向番号	(2)	事業名	子育てひろば(地域子育て支援拠点)事業																																				
対応する戦略名	2. まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ																																										
対応する戦略の方向	(2)妊娠・出産・子育てについて途切れのない支援を行うとともに、家庭・地域・事業所・行政など多様な人々の絆により地域全体で子ども自らの育ちと子育てを支えあい、応援する風土づくりを進めます。																																										
事業概要	乳幼児とその保護者が相互に交流できる場所を開設し、子育てについての相談や情報の提供、講座等を行うとともに、必要に応じて、関係機関の支援につなぎます。																																										
事業実施状況	常設子育てひろば13か所と出張出前子育てひろば6か所で年間開設日3,148日、総利用者数88,909人。平成22年以降右肩上がりに利用者が増加、平成27年度だけ前年度より3.8%減少したが、平成28年度は、新規常設子育てひろば開設により前年度減少分を超えて利用が増加している。相談件数4,511人で総利用者の約5%を占める状況は例年同様である。																																										
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> <th colspan="5">総利用者数</th> <th colspan="4"></th> </tr> <tr> <th>単位</th> <th>戦略策定時の値 (25年度)</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>31年度目標値</th> <th colspan="4"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人</td> <td>7万6,302 (市内ひろば合計)</td> <td>8万5,008 (市内ひろば合計)</td> <td>8万8,909 (市内ひろば合計)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8万5,709 (市内ひろば合計)</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>											指標名		総利用者数									単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値					人	7万6,302 (市内ひろば合計)	8万5,008 (市内ひろば合計)	8万8,909 (市内ひろば合計)	-	-	8万5,709 (市内ひろば合計)			
指標名		総利用者数																																									
単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値																																					
人	7万6,302 (市内ひろば合計)	8万5,008 (市内ひろば合計)	8万8,909 (市内ひろば合計)	-	-	8万5,709 (市内ひろば合計)																																					
乳幼児とその保護者が参加しやすい身近な場所において子育てひろばを開設することにより、地域における交流が進み、育児の孤独感や不安感が軽減された。また、親子関係や発達に課題を抱える親子の相談に対応し、必要な支援につなげた。																																											
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	子どもの人口減少が顕著な地域も現れ始めた。身近な場所というだけでなく、開設曜日時間、イベント、講座の企画など、利用者はニーズに合わせ、数か所のひろばを利用する傾向もうかがわれる。それぞれのひろばの特徴を活かした魅力ある子育てひろばの運営が求められている。																																									
	平成29年度開	常設子育てひろばのなかった柴崎町地区に、新たな子育てひろばを5月に開設した。運営形態も多様化した子育てひろばにおいて、地域の特色を活かした子育て拠点としての役割を考える。子育てひろばのイベントを地域の学習館等で活躍するサークルに依頼するなど、魅力ある取組で利用者増加をめざす。																																									

立川市子育てひろばマップ



出前・出張ひろばはP39～P40をご覧ください。
＊は地域の団体、民間児童館のひろばです。P33～P38です。

子育てひろば一覧

H29年4月現在

子育てひろば	月	火	水	木	金	土	
	年齢	対象	別	なし			
①ひじみ子育てひろば 富士見館 (52)9020 9:00~12:00	午前 9:30~12:30	乳児 0~1歳 (館内整理日 は休み)	幼稚園 2歳以上 (館内整理日 は休み)	乳児 0~1歳	乳児 2歳以上	午前 9:00~18:00 午後 12:00~18:00	
②にしき子育てひろば 鍵門館 (52)6684 9:30~12:30	乳児 0~1歳	幼稚園 2歳以上 (館内整理日 は休み)	乳児 0~1歳	乳児 2歳以上	午前 9:00~18:00 午後 12:00~18:00	午前 9:00~18:00 午後 12:00~18:00	
③ごうち子育てひろば 那がれ見館 (52)2336 9:30~12:30	午前 9:30~12:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:00~20:00 午後 12:00~20:00	
④ふない子育てひろば 女性会センター1階 (52)75850 9:30~15:30	午前 9:30~15:30	おおむね1歳6か月~入学前の幼稚園・托儿所 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 12:00~18:00 全年齢 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠	年齢	対象	別	なし	午前 9:00~18:00 午後 12:00~18:00
⑤たかまつ子育てひろば 高松見館 (53)2525 9:30~12:30	午前 9:30~12:30	おおむね1歳6か月~入学前の幼稚園・托儿所 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 12:00~18:00 全年齢 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠	年齢	対象	別	なし	午前 9:00~18:00 午後 12:00~18:00
⑥なかすな子育てひろば 中砂県館 (53)1391 10:00~13:00	午前 9:30~12:30	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:00~12:00 午後 13:00~15:30
⑦のわかは子育てひろば 若狭見館 (53)1400 9:30~15:30	午前 9:30~15:30	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:30
⑧のくみすな子育てひろば 上砂見館 (53)1567 9:30~12:00	午前 9:30~12:00	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:30
⑨にこにこ子育てひろば 西砂見館 (53)10433 9:30~12:30	午前 9:30~12:30	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:30
⑩にこにこ子育てひろば たかのがち見館 (53)79414 10:00~15:00	午前 9:30~15:30	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:30
⑪まわり子育てひろば 砂川1階 (52)84335 9:30~15:30	午前 9:30~15:30	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:30	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:30
⑫くわりん子育てひろば 西砂学習館2階 (52)8664 9:30~15:00	午前 9:30~15:00	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:00	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:00
⑬にじつ子育てひろば 西砂学習館4階 (512)7704 10:00~15:00	午前 9:30~15:00	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:00	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:00
⑭はさきのいえ 子育てひろば 業協助4丁目 (512)7704 10:00~15:00	午前 9:30~15:00	おおむね1歳6か月~入学前の乳児・妊娠 ※おおむね1歳6か月までの乳児・妊娠 午後 13:00~15:00	年齢	対象	別	なし	午前 9:30~12:00 午後 13:00~15:00

出張・出前子育てひろば

親子で交流☆ 楽しく遊び♪ 憧みも相談できます

子育てひろばでは出張や出前のひろばも実施しています。
○歳～小学校入学前のお子さんをもちつママ、パパ。おじいちゃん、
おばあちゃんも、お孫さんと一緒に遊びに来てください。

出張ひろばや出前ひろばで、お待ちしています。

場 所：中里公会堂、西立川保育園、曙福社会館、一番町北住宅

対 象：0歳～小学校入学前のお子さんと保護者

内 容：自由に過ごしていただく他、手遊び等を行います。
ひろば指導員が育児相談にもお答えします。

時間内は出入り自由です。
H29年度予定【年末年始・祝日はお休み。日程は変更になる場合があります。】

⑮西立川保育園出前ひろば 富士見町 1-18-16

毎週水曜日 (12/20・12/27・3/21・3/28は休み)

時間 10:00~11:45 (11:00受付終了)

⑯曙福社会館出前ひろば 曙町 3-44-17

毎週金曜日

時間 10:00~12:00

⑰中里公会堂出前ひろば 西砂町5-11-13 (西砂会館奥)

毎週月曜日

時間 10:00~12:00

⑱いちばん出張ひろば 一番町 4-62-3 (西砂会館奥)

毎週金曜日

時間 9:30~12:00
13:00~15:30

お問い合わせ：子育てひろば 担当
TEL 042 (528) 4335

午前9時～午後5時(日・祝日はお休みです)

キ 子育てひろば利用状況

施設名	開設日数	開設か所数	利用者数			相談件数
			総数	大人人数	子ども人数	
ふじみ子育てひろば	232	1	3,228	1,511	1,717	314
にしき子育てひろば	234	1	5,117	2,427	2,690	188
はごろも子育てひろば	233	1	4,281	2,043	2,238	239
たかまつ子育てひろば	180	1	5,206	2,471	2,735	259
わかば子育てひろば	230	1	3,622	1,702	1,920	134
かみすな子育てひろば	240	1	5,059	2,329	2,730	132
にしすな子育てひろば	153	1	3,064	1,362	1,702	573
なかすな子育てひろば	240	1	3,614	1,710	1,904	310
なないろ子育てひろば	230	1	10,624	5,137	5,487	322
くるりん子育てひろば	257	1	16,108	8,057	8,051	556
ひまわり子育てひろば	245	1	12,854	5,997	6,857	477
にじっこ子育てひろば	219	1	7,518	3,485	4,033	375
にこにこ子育てひろば	198	1	4,266	2,105	2,161	331
出張・出前ひろば	257	(6)	4,348	2,017	2,331	301
計	3,148	13	88,909	42,353	46,556	4,511

※出前ひろばの開設か所数は、出前実施先の箇所数のため、開設か所数の計には含まれない。

たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	8	戦略番号	2	戦略の方向番号	(2)	事業名	ファミリー・サポート・センター事業									
対応する戦略名	2. まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ															
対応する戦略の方向	(2)妊娠・出産・子育てについて途切れのない支援を行うとともに、家庭・地域・事業所・行政など多様な人々の絆により地域全体で子ども自らの育ちと子育てを支えあい、応援する風土づくりを進めます。															
事業概要	子育ての手助けをしてほしい人と手伝いができる人が相互に登録し、保育園などの送り迎えやその前後の一時預かりなどを行います。															
事業実施状況	地域ぐるみでの子育ての力の向上を目的として、会員の募集・登録・依頼の受付、コーディネート、援助会員養成講習会の開催、会報誌の発行を行った。															
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)															
	指標名		活動件数													
	単位	戦略策定期の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値									
	件	9,119	8,501	8,855	-	-	9,800									
	集団保育とは異なる、保護者のニーズに応じた多様な対応を行うことで、安心して子育てできる環境づくりにつながった。子育てに知識や関心のある方を増やし、地域ぐるみでの子育ての推進に貢献した。															
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	援助会員のなり手が不足している。														
	平成29年度の事業展開	継続して会員の募集登録・援助会員の養成、援助活動のコーディネートを行う。														

Q&A ?

会員登録するには？

A 会員になる前に説明を受け、趣旨をご理解いたたき、登録手続きをします。
登録には、縦3cm×横3cmの保護者の顔写真1枚必要となります。※スナップ写真可
入会金・年会費は無料です。
援助(両)会員希望書については、センターの実施する講習を受けていただきます。

謝礼金は？

A 依頼会員は援助会員へ謝礼金を支払います。
(子ども1人1時間あたり)
◎月～金曜日 午前7時～午後7時 700円
◎土・日・祝日、早朝及び夜間 900円
◎病気の回復期 900円

◎打ち合わせ料金
(1ヶ月以内の利用の時には、1時間分の料金)

*交通費・食事代・おやつ代等は実費
*兄弟同時に依頼の場合は、2人目以降半額
*当日の取り消しはキャンセル料が発生します

ケガや事故が心配・・・。

A 援助活動中の事故やケガに備え、補償保険に加入しています。

詳しくはセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込み

立川市アミラー・サポートセンター

〒190-0022 立川市錦町3-2-26

TEL 042-528-6873

FAX 042-528-6875

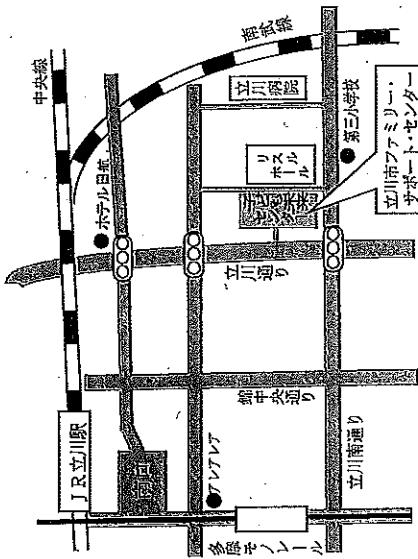
開所時間

月～土曜日 (午前9:00～午後5:00)

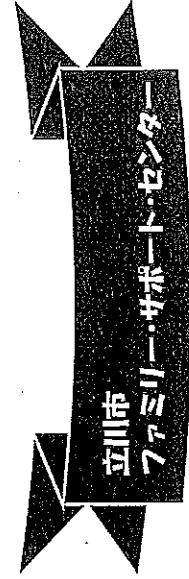
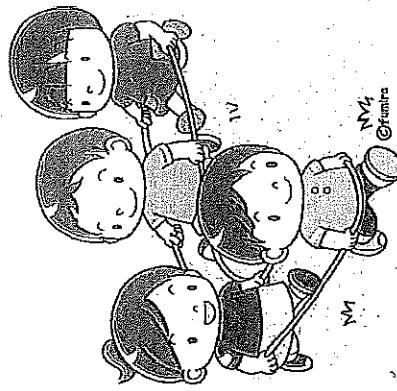
休所日

日曜日・祝日・年末年始

案内図



地域に広げる子育ての輪



ファミリー・サポート・センターって？

ファミリー・サポート・センターは、家庭での子育て・地域での子育てを支えあうために、「子育ての手伝いができる人（依頼会員）」「子育てのお手伝いができる人（援助会員）」の会員組織です。

依頼会員…子育ての手助けをしてほしい人
★立川市内に住み、小学校卒業までの子どもを持つ

援助会員…子育てのお手伝いができる人
★立川市内に住み、援助会員養成講習会を修了した

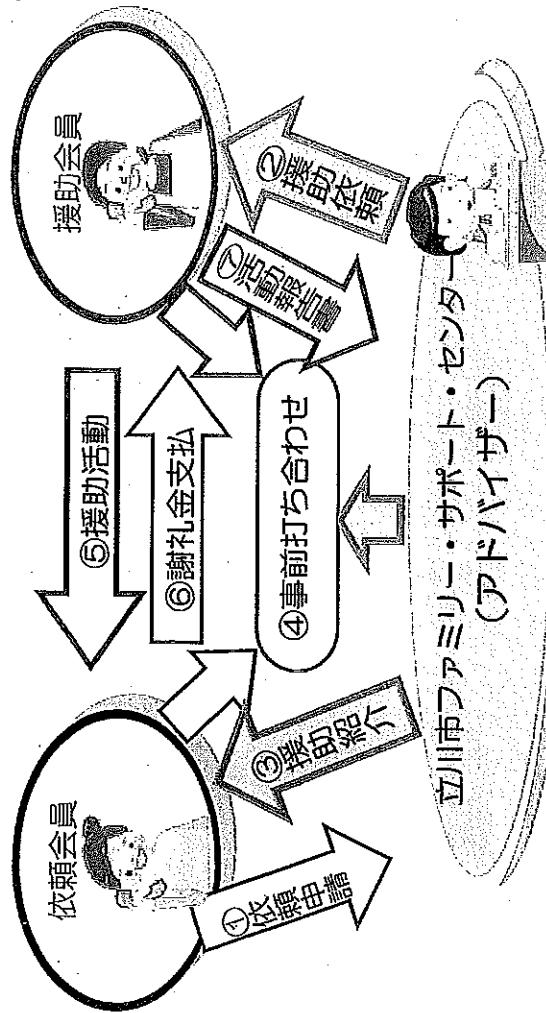
両会員…両方できる人
★依頼と援助の両方を兼ねる人

○こんなとき 利用でまきます

- 保護者の求職活動や、短時間就労の場合の預かり
- 保育園・幼稚園の送り迎えや、その前後の預かり
- 保育園・幼稚園・学校等の休みの時の預かり
- 学童保育所・学校等の送り迎えや、その前後の預かり
- 保護者が学校行事や買い物等で外出する場合の預かり
- 保護者が冠婚葬祭や、急な外出等の場合の預かり
- 保護者の病気、病気、介護等の場合の預かり
- 子どもの病気の回復期の預かり
(保育園からの病気やケガの呼び出しの迎えは行いません)
- 宿泊保育

***あなたの他困ったとき、ご相談ください。**

ファミリー・サポート・センターひじく



- ① ファミリー・サポート・センターに入会後、実際利用したい場合は、依頼内容をセンターに申し込みます。
- ② センターは、依頼内容に合った援助会員を見つけ、依頼します。
- ③ センターは、援助ができる方を依頼会員に紹介します。
- ④ 依頼会員の方は、援助会員との事前打ち合わせの日時を決め、センターに連絡します。
- ⑤ 事前打ち合わせは、依頼・援助会員・アドバイザーの三者で行います。
※この料金は、依頼日から1ヶ月以内の利用時に差し引いて計算します。
- ⑥ 援助活動の実施。
- ⑦ 援助会員は、援助会員の記入した「援助活動報告書」の内容を確認の上署名し、その場で謝礼金を支払います。
- ⑧ 援助会員は、「援助活動報告書」を1ヶ月分まとめて翌月5日までにセンターに提出します。

たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	9	戦略番号	2	戦略の方向番号	(2)	事業名	育児支援ヘルパー事業										
対応する戦略名	2. まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ																
対応する戦略の方向	(2)妊娠・出産・子育てについて途切れのない支援を行うとともに、家庭・地域・事業所・行政など多様な人々の絆により地域全体で子ども自らの育ちと子育てを支えあい、応援する風土づくりを進めます。																
事業概要	援助者がおらず、育児不安を抱える産前1か月から産後1年未満の妊産婦等に対し、訪問による育児知識や育児行動への援助を行います。																
事業実施状況	利用人数:90人 利用回数: 182回 利用時間数: 359時間 前期は利用者の減が顕著であったが、後期は制度の周知もあり利用が増加した。育児支援ヘルパーを利用した家庭のうち、養育上の課題のある家庭については、養育支援訪問事業を導入することができた。利用者アンケートも概ね好評だった。																
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)																
	指標名		ヘルパーの派遣件数														
	単位	戦略策定期の値(25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値	1,100 2016(平成28)年度～ 2019(平成31)年度累計									
件		一	一	182	一	一											
援助者がおらず、育児不安を抱える産前1か月から産後1年未満の妊産婦等に対し、訪問による育児知識や育児行動への援助を行った。そのことで、産前産後の妊産婦の負担感や不安感の軽減を図ることができた。また、このなかから積極的な支援の必要な家庭に対しては、養育支援訪問事業につなげことで養育上の課題に対応することができた。																	
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	利用者負担の導入等に伴う利用者減の課題があり、利用者への周知に努めるほか、申請について利便性の向上についての検討が必要である。															
	平成29年度	妊娠届やこんにちは赤ちゃん事業、ブックスタート事業での周知など様々なツールを活用して事業の周知に努めるほか、ホームページから申請できるような仕組みを検討する。またヘルパーが作成するチェックシートとアンケートの突合により家庭状況の判断材料とすることができるよう、アンケートへの回答をお願いしていく。															

利用される方へのお願い

H28年4月より

- ・キャンセルは、ヘルパーが訪問する前日の午後5時までに、子ども家庭支援センターにご連絡をお願いします。
(前日が休日の場合は、平日で最前日午後5時まで)
- *連絡がないと、1回分を利用したことになります。

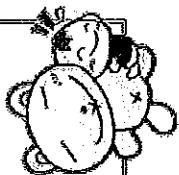
- ・ヘルパーは留守番や預かり保育はできません。

- ・清掃の専門業者ではありません。大掃除や車取り等の外掃除は行いません
る。ご自宅にある掃除道具で行います。雑巾やスポンジ、古い歯ブラシ
もご用意いただけます。

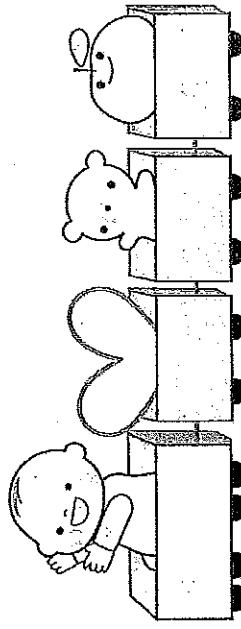
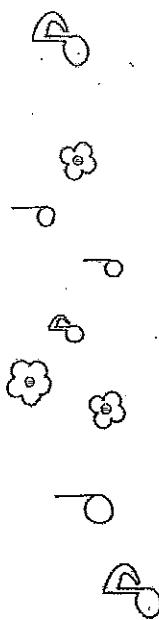
- ・買い物は立て替えを致しません。ご自宅に同つてから、現金を預かり
出発します。買い物前後にヘルパーとご確認ください。

- 3. 金融機関での現金の預け入れ、引き出しは行いません。利用料の振り込
みは、保護者ご自身がお願いします。

- ・ヘルパーは簡単な育児相談もお受けできます。また、子ども家庭支援
センターでも様々な相談を行つております。
(秘密厳守)
小さな事でも、お気軽にご相談ください。



立川市子ども家庭支援センター



ご利用についてのお問い合わせ先

立川市子ども家庭支援センター
(月～土曜日 午前8時30分～午後5時)

住所：立川市錦町3-2-26
(子ども未来センター内)
電話：042(528)6871
FAX：042(528)6875

育児支援ヘルパー モデル事業で行つていた保育園送迎、美
容院等のお付き添いは、行えなくなりました。ご理解のほどお願
いいたします。保育園送迎は、ファミリーサポートをご利用
ください。

産前産後の時期、日中手助けしてくれる人がいないし、体調や気分がすぐれないなど、育児で大変なお母さんたちを手助けしようとというう制度です。ご自宅にヘルパーがうかがい、育児や家事などの支援や相談を行います。

《申し込みからヘルパー派遣までの流れ》

◆利用できる方 立川市にお住まいのお母さん、お父さん

◆利用の期限 出産予定期日の1カ月前～産後1年未満まで
回数 (例) 子の誕生日が4月1日生まれ⇒3月31日まで
乳児1人につき、1回2時間を4回

◆利用できる 日時 平日のみ(土日祝日・年末年始は休み)
午前9：00～午後5：00

◆どんな お仕事? 日常的一般的な家事・育児の支援です
室内や水回りの掃除・洗濯・食事づくり・買い物
沐浴の補助・育児・健診や病院の付き添

◆利用料 1回 500円
(非課税世帯、生活保護世帯等は免除制度があります)

◆ヘルパー事業所は、3ヶ所です

NPO たすけあいワーカーズパステル(幸町)
電話／042(535)8071

子ども好きな40歳代から60歳代のヘルパー(縦て女性)で活動しています。
この支援事業スタート時からの経験をもとに子育て中のみなさま
います。この支援ができるようサポートをめざしています。

(株) 家族のみかた(高松町)
電話／042(527)1234

家政、介護人材バンクです。育児・子育て支援サービスも長年にわたり行っております。何でも気軽にご相談を。

NPO ケアセンターやはらぎ・立川(錦町)
電話／042(523)3463

頼れるヘルパーさんがそろっています。育児の心配事、家事の
お手伝いは先輩ママさんにおまかせください!

1 申請書を郵送又はFaxしてください

*利用希望日の1週間前までに必要

FAX: 042(528) 6875

〒190-0022
立川市錦町3-2-2-26
子ども未来センター内 子ども家庭支援センター
育児支援ヘルパー担当

- 2 子ども家庭支援センターからお電話を致します
・申請内容の確認や日時の決定
- 3 子ども家庭支援センターから利用決定通知書が届きます
- 4 当日、直接、ご自宅にヘルパーがうかがいます
～当日の流れ～
打ち合わせ、報告書の記入の時間を含めて2時間となります
・最初に、仕事内容の打ち合わせをします
・家事等のご支援を致します
・最後に、支援内容の確認、サインをいただきます
- 5 後日、利用料の請求書・納付書が届きます
*請求書・納付書が届き次第、お近くの金融機関にてすみやかにお支払ください
- 6 2回目以降、希望日時が未定の場合は、決まり次第
子ども家庭支援センターまでご連絡をお願いします
*体調不良以外の急なキャンセルはお避け下さい

たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	10	戦略番号	2	戦略の方向番号	(2)	事業名	母子保健指導事業																										
対応する戦略名	2. まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ																																
対応する戦略の方向	(2)妊娠・出産・子育てについて途切れのない支援を行うとともに、家庭・地域・事業所・行政など多様な人々の絆により地域全体で子ども自らの育ちと子育てを支えあい、応援する風土づくりを進めます。																																
事業概要	母子の健全な成長を支援するため、親と子の健康相談事業、出産や育児の不安を軽減するための専門スタッフによるパパママ学級などの事業を実施します。																																
事業実施状況	安心して子どもを産み育てることができるよう、妊婦やその配偶者を対象にパパママ学級を開催し、妊娠・出産・育児について学ぶ機会を提供した。(延参加者576名) 安心して出産できるよう、また経済的な負担軽減を図るために、妊婦健診に係る費用の一部を公費負担した。 赤ちゃんが生まれた家庭を対象に、保健師や助産師が訪問し、市政情報の提供や育児に関する相談を行った。(訪問者数1,356件) 妊婦や就学前のお子様のいる保護者を対象に育児に関する相談を実施した[親と子の健康相談]。(参加者2,347人) 乳幼児健診を実施し身体測定や内科健診、各種相談を通じて、途切れのない子育て支援を推進した。(受診者 3~4か月児:1,414人、1歳6か月児1,451人、3歳児1,421人)																																
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> <th colspan="6">かかりつけの医師がいる割合 (0~6歳までの子どもがいる市民)</th> </tr> <tr> <th>単位</th> <th>戦略策定期の値 (25年度)</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>31年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>80.2</td> <td>79.9</td> <td>79.3 (速報値)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>											指標名		かかりつけの医師がいる割合 (0~6歳までの子どもがいる市民)						単位	戦略策定期の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値	%	80.2	79.9	79.3 (速報値)	-	-	100.0
指標名		かかりつけの医師がいる割合 (0~6歳までの子どもがいる市民)																															
単位	戦略策定期の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値																											
%	80.2	79.9	79.3 (速報値)	-	-	100.0																											
各種教室や相談、乳幼児健診等、子どもや保護者に寄り添った子育て施策を推進することで、安心して出産し子育てできる風土づくりにつながった。																																	
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	各種教室や相談事業は多くの子育て世代が利用しているものの参加者の主体性が求められている。今後、情報をさらにわかりやすく発信することで、より多くの子育て世代に利用してもうらう取組みや検討が必要である。なお、核家族化の進展等により、妊娠期や産後の初期段階における妊産婦のあり方などについて検討を進める必要がある。																															
	平成29年度の事業展開	広報紙やホームページ、各種案内を通じて、さらにわかりやすく情報を発信し、子育て世代にやさしいまちづくりを進めていく。																															

母子保健事業

○母子保健の事業内容

母子健康手帳の交付	妊婦	妊娠届出時に、母子健康手帳や妊娠健康診査受診票などの必要な書類をお渡ししています。健康会館では、保健師・助産師により子育てに関する情報の提供・相談を行っています。	健康会館・子ども家庭支援センター・市役所・連絡所(東部、西部、富士見)・窓口サービスセンターで交付
パパママ学級	妊娠されている方(20週以降・初産)とその配偶者・パートナー	妊娠・出産・育児などについて学ぶ教室です。育児の仲間を作る機会になります。	電話予約(先着順)
妊娠歯科健康診査	妊婦	歯科健診を市内の指定医療機関にて無料で受けられます。	受診券は母子健康手帳と一緒に交付
妊娠健康診査	妊婦	妊娠健康診査を14回、指定医療機関で対象となる診査を無料で受けられます。都外の医療機関や助産所で健康診査を受診した場合は、申請により健診費用の一部を助成しています。	受診票は母子健康手帳と一緒に交付
新生児等聴覚検査	新生児	聴覚検査の費用を一部公費負担しています。市外の医療機関にて自費(保険適用外)で行った場合は、申請により検査費用の一部を助成しています。	市内の指定医療機関で検査を受診した場合は、一部を公費負担
妊娠婦・乳幼児保健指導	経済的な理由で受診の困難な妊娠婦及び乳幼児	診察などの保健指導を指定医療機関にて無料で受けられます。	必要な書類(非課税証明書等)を持参し、健康会館で申請
母子栄養食品の支給	経済的な理由で生活に困っている妊娠婦及び乳幼児	粉ミルク引換券を交付しています。	必要な書類(非課税証明書等)を持参し、健康会館で申請
妊娠婦・新生児訪問指導 こにちは赤ちゃん	妊娠婦・産婦・新生児(乳児)	赤ちゃんが生まれたすべての家庭を保健師や助産師が訪問し、子育てに関する情報の提供・相談を行っています。	出産後に「赤ちゃん連絡票」を提出してください。後日連絡します。 妊婦訪問は電話でお問い合わせください。
3~4か月児健康診査 産婦健康診査	3~4か月児及びその母親	身体測定、内科健診、産婦健診、育児・栄養・授乳等に関する相談を行っています。(健診の結果、経過観察が必要とされたお子さまは医師による健診を行っています。)	お子さまが3か月の時に個別通知
6・9か月児健康診査	生後6~7か月児及び9~10か月児	身体測定、医師による診察等を指定医療機関にて無料で受けられます。	予防接種関係書類に受診票を同封
1歳6か月児健康診査	1歳6か月児(2歳のお誕生日まで)	身体測定、内科健診、歯科健診、眼科検査、育児・栄養・歯科等に関する相談を行っています。	お子さまが1歳6か月の時に個別通知
幼児歯科相談	初回健診:2歳児 (3歳のお誕生日まで) くり返し健診:2歳半・3歳半 (初回健診受診者に限ります)	歯科健診等を行っています。初回健診は、主に2歳児を対象に行い、健診結果及びご希望により、くり返し健診やフッ素と布を行っています。	初回:お子さまが2歳の時に個別通知 くり返し健診:健診時に予約
3歳児健康診査	3歳児(4歳のお誕生日まで)	身体測定、内科健診、歯科健診、必要に応じて眼科検査、育児・栄養・歯科等に関する相談を行っています。	お子さまが3歳の時に個別通知
らくらくゴックン (離乳食準備教室)	4~5か月児の親	離乳食をはじめるタイミングやメニューを学ぶ教室です。保護者による試食も行っています。(材料費あり)	対象月があります。往復はがきでお申し込みください(応募多数時は抽選)。日程などの詳細は、随時「広報たちかわ」でご案内します。
キラキラ☆歯育て (親子歯みがき教室)	生後1歳~1歳2か月児と親	この時期に大切な栄養と虫歯予防について学び、歯磨きの実習を行っています。(ハブラシ代あり)	対象月があります。電話でお申し込みください(先着順)。日程などの詳細は、随時「広報たちかわ」でご案内します。
親と子の健康相談	妊娠されている方、お子さま(就学前まで)やその保護者	身長や体重の測定、発育や発達、育児・母乳や離乳食、歯に関する相談を行っています。	直接会場にお越しください。 ※心理相談のみ予約制です。当日希望される方は、電話でお問い合わせください。

○パパママ学級、乳幼児の健康診査、らくらくゴックン、キラキラ☆歯育て等の日程(会場は健康会館)

会場 日程 担当	パパママ学級(4回コース) 1・2回目 土曜日/午後2時~4時 3回目 土曜日/午後1時30分~4時 4回目 土曜日/午後2時40分~4時	1回目	5/29	7/24	9/25	11/20	1/22	3/5					
		2回目	6/5	7/31	10/2	11/27	1/29	3/12					
		3回目	6/10	8/5	10/7	12/2	2/3	3/17					
		4回目	出産後にはがきでご案内します。										
	パパママ学級(土曜日半日コース) 土曜日/午後1時30分~4時	1回のみ	5/13	9/9	1/13	※上記の日程で参加が難しい方は「4回コース」の3回のみの参加ができます。ご相談ください。							
													
4月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3~4か月児健康診査・産婦健康診査 原則第2・第3水曜日/午後0時50分~1時50分受付		12 19	10 24	14 21	12 19	9 23	13 20	11 18	8 15	13 20	10 24	14 21	7 14
1歳6か月児健診 原則第2・第4木曜日/午後0時50分~1時50分受付		13 27	11 25	8 22	13 27	10 24	14 28	12 26	9 30	14 21	11 25	8 22	8 22
3歳児健診 原則第2・第4火曜日/午後0時50分~1時50分受付		11 25	9 23	13 27	11 25	8 22	12 26	10 24	14 28	12 19	9 23	13 27	13 20
幼児 歯科相談	初回健診(2歳児) 原則第1・第4金曜日/午後1時~2時受付	7 28	12 26	9 23	7 28	4 25	1 22	6 27	10 24	1 22	12 26	2 23	2 23
	くり返し健診(初回健診受診者) 原則第3金曜日/午後1時10分~2時受付	21	19	16	21	18	15	20	17	15	19	16	16
※フッ素と布は健診結果及びご希望により、初回健診(2歳児)・くり返し健診終了後、同日に行います。													

会場	名前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
らくらくゴックン 原則第2金曜日 午前10時~11時30分	対象のお誕生日 H28.11 ~12	H28.12 ~H29.1	H29.1 ~2	H29.2 ~3	H29.3 ~4	H29.4 ~5	H29.5 ~6	H29.6 ~7	H29.7 ~8	H29.8 ~9	H29.9 ~10	H29.10 ~11	
	実施日	14	12	9	14	4	8	13	10	8	12	9	9
キラキラ☆歯育て 原則第3火曜日 午前10時~11時30分	対象のお誕生日 H28.2 ~4	H28.3 ~5	H28.4 ~6	H28.5 ~7	H28.6 ~8	H28.7 ~9	H28.8 ~10	H28.9 ~11	H28.10 ~12	H28.11 ~H29.1	H28.12 ~H29.2	H29.1 ~3	
	実施日	18	16	20	18	22	19	17	21	19	16	20	20
親と子の健康相談 水曜日/午前9時30分~10時45分 (受付)	5(西) 26(健)	10(砂) 31(健)	7(西) 28(健)	5(砂) 26(健)	2(西) 30(健)	6(砂) 27(健)	4(西) 25(健)	1(砂) 29(健)	6(西) 6(西)	10(砂) 31(健)	7(西) 28(健)	7(砂) 28(健)	
		(西) 西砂学習館 (砂) 砂川学習館 (健) 健康会館											

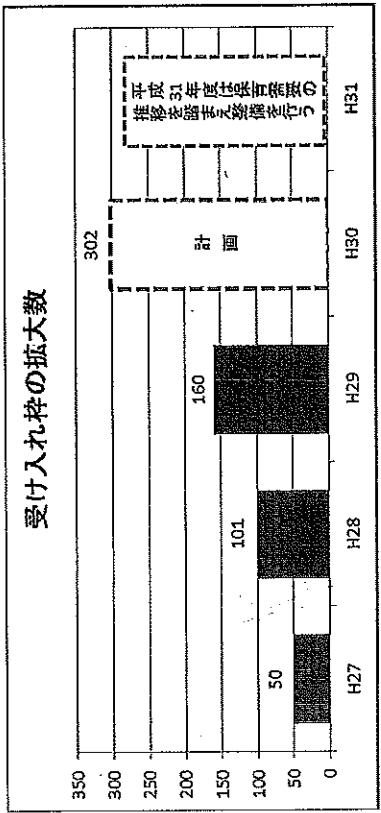
たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	11	戦略番号	2	戦略の方向番号	(3)	事業名	公立・民間保育所運営							
対応する戦略名	2. まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ													
対応する戦略の方向	(3)保育園待機児童数ゼロを目指すとともに、多様な生き方や働き方に関する意識啓発、労働時間短縮や育児休業の取得などの環境整備に取り組むよう事業所への働きかけを行うことにより、ワーク・ライフ・バランスを推進します。													
事業概要	保育の必要性が認定された児童の保育の実施により、子育てと仕事の両立支援とともに認可保育所等の運営を支援し、保育の質を確保します。あわせて、待機児童解消のため、地域型保育事業等を含め保育の量を確保します。													
事業実施状況	公立保育所8園及び民間保育所23園で保育を実施した。 延長保育を、公立保育所8園及び民間保育所21園で実施した。 一時預かり保育及び定期利用保育を、公立保育所1園及び民間保育所11園で実施した。 民間保育所の新設、改築及び公立保育所の民営化に伴う定員増などにより160人(平成28.4.2~29.4.1拡大量)の定員を拡大した。													
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)													
	指標名		認定区分ごとの確保方策(2号認定(満3歳以上)・3号認定(満3歳未満))											
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	単位	戦略策定時の値(25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値							
	人	-	3,568(※)	3,670	-	-	4,127							
保育所の新設等により受入枠を拡大するとともに、通常保育に加え産休明け保育や延長保育、一時預かり保育、定期利用保育のほか育休明け入園予約制度を実施し、市内で子育てる保護者の支援につながった。														
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	保育需要の増加に伴い受入枠拡大を図り、かつ弾力的な運用を行っているが、さらなる待機児童対策が必要となっている。												
	平成29年度	公立保育所8園及び民間保育所25園で児童を保育するとともに、延長保育や一時預かり保育・定期利用保育を実施する。このほか、事業者による保育士のキャリアアップに向けた取り組み、保育サービス向上の取り組み、保育士宿舎の借り上げを支援するため各経費の一部を補助する。また、民間保育所の建て替え、新設等による受入枠の拡大を継続して実施する。												

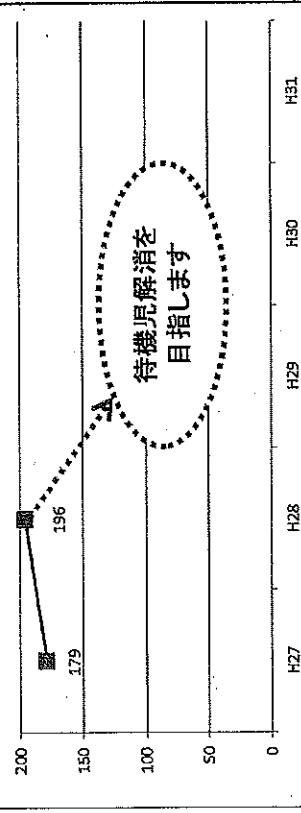
※ 保育施設利用定員算出方法の見直しに伴う実績値の修正 3,689人(28年度報告時)⇒3,568人

→ 私立認可保育園の新設のほか、市立保育園民営化に伴う定員増などによりさらに対機児の確保を進め、待機児の解消を目指します。

受け入れ枠と待機児の推移

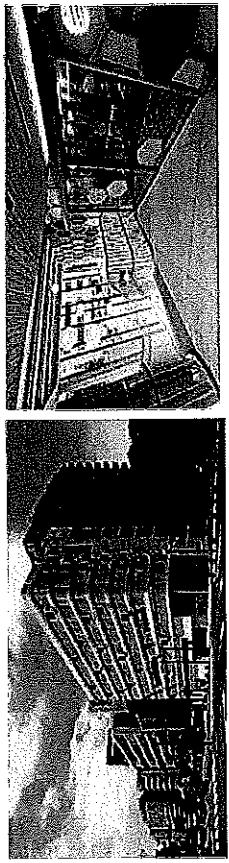


待機児の推移と見込み



受け入れ枠拡大の一方で、待機児については保育需要の高まりから、依然解消には至っておりません。

保育園の新設などにより定員を拡大



立川駅北口に新設する 学校法人三幸学園ばかりaland立川保育園

(平成29年4月開設)

- ・私立認可保育園
(曙町)…新設：定員36人、(錦町)…新設：定員40人、
(若葉町)…建て替え：定員増12人、
(砂川町)…民営化に伴う建て替え：定員増32人
- ・認証保育所(上砂町)…増築：定員増21人
- ・小規模保育施設(若葉町)…新設：定員19人

今後の保育園施設整備(予定)

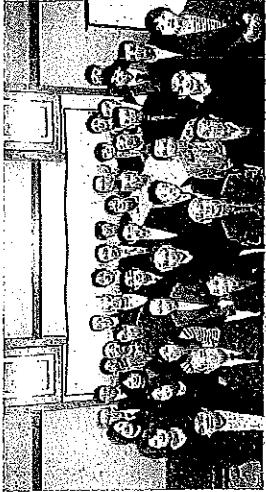
- ・私立認可保育園(西砂町(まか))…新設
- ・私立認可保育園(栄町)…民営化に伴う建て替え

今後も、受け入れ枠の確保に取り組むとともに、保育の質の確保・向上に努め、子どもたちの健やかな育ちと仕事の両立を支援します。

たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	12	戦略番号	2	戦略の方向番号	(3)	事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定事業																															
対応する戦略名	2. まちぐるみで、次代を担うひとをはぐくむ																																					
対応する戦略の方向	(3)保育園待機児童数ゼロを目指すとともに、多様な生き方や働き方に関する意識啓発、労働時間短縮や育児休業の取得などの環境整備に取り組むよう事業所への働きかけを行うことにより、ワーク・ライフ・バランスを推進します。																																					
事業概要	事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進のため、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内の事業所を認定し、その取組について市のホームページや広報を通じて周知します。																																					
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度認定事業所の認定を更新(4月) ・新規認定事業所を募集(7、8月) ・事業所の取り組み内容を審査し、認定(9月、10月) ・事業所取り組み紹介リーフレットを作成し、関係機関に配布 ・認定及びセミナーの開催(2月) 																																					
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	<p style="text-align: center;">「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">指標名</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">認定事業所数</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>単位</th> <th>戦略策定時の値 (25年度)</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>31年度目標値</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所</td> <td>6 2011(平成23)年度～ 2013(平成25)年度累計</td> <td>2</td> <td>3 (累計5)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15 2015(平成27)年度～ 2019(平成31)年度累計</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年度は新たに3事業所の認定を行い、認定事業所の総数は15事業所となった。3事業所とも認定基準を上回る取り組みを行っており、リーフレット及び認定式でこれらの取り組みを周知したことが、市内業者所への啓発に効果があったものと考える。なお、平成25年度に認定を行った2事業所についても、取り組みを継続していると認め更新した。</p>											指標名		認定事業所数							単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値			事業所	6 2011(平成23)年度～ 2013(平成25)年度累計	2	3 (累計5)	-	-	15 2015(平成27)年度～ 2019(平成31)年度累計		
指標名		認定事業所数																																				
単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値																																
事業所	6 2011(平成23)年度～ 2013(平成25)年度累計	2	3 (累計5)	-	-	15 2015(平成27)年度～ 2019(平成31)年度累計																																
課題	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度の浸透が課題である。																																					
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	平成29年度	引き続き認定事業所紹介パネルの設置拡大を図り、市内事業者の認定事業を進める。制度の浸透が課題であるが、女性活躍推進法に伴う特定事業主行動計画など国や都の動向を踏まえ、商工会議所などとの連携を強化し、周知啓発に努める。																																				

中村建設株式会社



会社概要

住所：立川市錦町二丁目8-18
事業概要：総合建設業、住宅、事業所及び店舗
ビル等の建築工事及び設備工事、河
川・水道・鉄道工事を施工本会員
従業員数：42名（男性34名、女性8名）

平成28年度 立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定

社長の熱い想いで長い年月をかけて ワーク・ライフ・バランスを推進

ワーク・ライフ・バランスが難しいと言われる建設業界で、世間にワーク・ライフ・バランスという言葉が浸透する以前から、長い時間労働は体によくない、いい仕事のためにもワーク・ライフ・バランスは重要な要素だと中村社長は提言してきました。月休6日が慣例の建設業界において第1、第3土曜に加えて第5土曜も休みにしたり、36協定による時間外労働も月40時間→月30時間→月25時間と徐々に短くしていきました。一方で現場からは仕事の時間短縮は難しいとの声がある中、バランス等について勉強され、繰り返し事掛けを続けることで環境作りを進めてきました。



中村建設では女性活躍推進にも力を入れています。例云ば現場の女性の内装は家庭と同じ便座を探用。パワールームの設置等、仮設トイレなどは恥えない潔さで気持ちよく働く環境作りを進めています。

また、育児中の社員は短時間勤務も活用。他の社員に迷惑をかけるなどの心理的負担を感じる場合には一度有期契約社員になり、育児が終わったらまた元の希望で戻れる環境も整っています。職場経験のある女性が復帰後、活躍できるのが強みです。

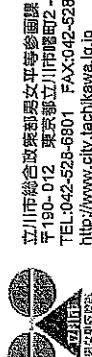
この他、工事と工事の施工期間に余裕がある時期に2回間の長期休暇取得を推奨するなど有給休暇取扱促進も進めています。



ワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を募集しています！

ワーク・ライフ・バランス推進事業所には認定証を交付し、取り組みについて市ホームページや市広報等で広く紹介しています。「仕事を家庭の両立を推進し、男女共に働きやすい職場」を目指す職場の皆さん、ぜひご応募ください。

お問い合わせ先 立川市総合政策部男女平等参画課 TEL:042-528-6801



平成28年度 立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定

WORK-LIFE-BALANCE TACHIKAWA MODEL

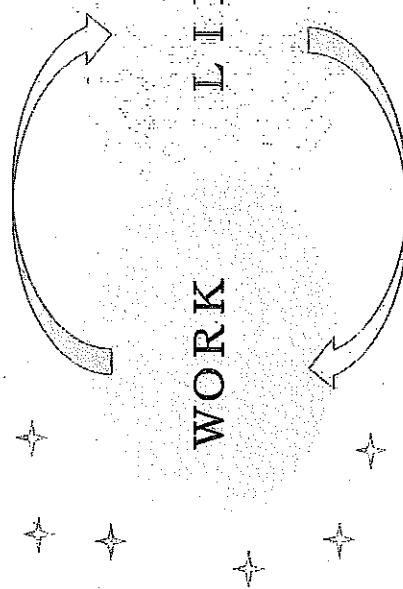
認定事業所の主な取り組み



現場監督の2名体制
1人に向かっても対応
が可能。女性現場で
活躍出来ます。また、
若手社員の早期育成
効果もあり。

若者応援宣言、転職
者・インターンシップの積
極的受け入れに努めて
います。

有期契約社員制度を
活用し、育児など社員
の大変に合わせて柔軟
な働き方を受け入れて
います。



仕事と生活の

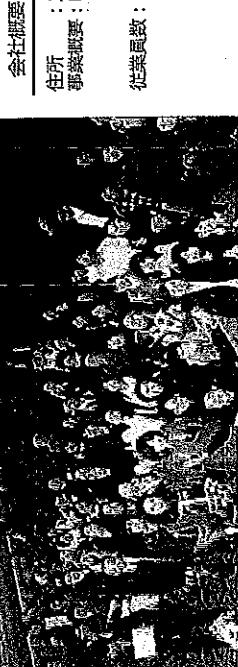
“相乗効果”を生み出すのが
ワーク・ライフ・バランスです

立川市では、事業所におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
の推進を図ることを目的とした「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定」を行

ています。平成28年度は、仕事と家庭の両立や男女共に働きやすい職場
環境づくりの促進に努めている3事業所を認定しました。認定事業所の主な
取り組みをご紹介します。

立川市

株式会社自然教育研究センター



ライフペントを考慮しながら好きな仕事を続ければ

自然教育研究センターは、イン

ターフリーターと呼ばれる自然の店をお客様に伝える仕事をしているます。この仕事がしたい! という思いが強い人が集まる職場だからこそ、様々なライフペントに直面してしまったときも手助けしてくれる職業作りを義務に考えてきただと総務担当の井口さんは語ります。例えば、子育て中はスタッフの体調や心的負担を考慮して常勤・非常勤に応じて子育てが落ち着いたら常勤に戻れる制度があります。男性にも気軽に子の看護休暇制度を利用してもらえるようよう日間の育児休暇は有給にしました。

制度を利用するには、利用やすい解があるのも大きいところです。職場にはスタッフのお子さんの写真が貼つてあります。育休中のスタッフが職場に遊びに来た時には作ってみてみんなで食べたりと、仲間の暖かさや“この職場に戻ってきたいいんだ!”という安心感が伝わる職場です。

時間管理についても衛生委員会でもチエックしていくますが、年に2回の検査会ではチーフクラスが集合してワークショップを行い、効率化などを向上を主張的に考えた場を作りました。



立川市はワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を応援しています！

人材を活かし、戦力としていくために企業にはワーク・ライフ・バランスが必要です

ニーズの多様化や経済のグローバル化が進むなど、社会経済が変化に対応する力が求められます。少子高齢化の影響がないこと金銭的な問題が不足し、労働人口は減少傾向にあります。働きがちな夫婦を育む人、親の介護を担う人も多くなっています。また、共働き家庭が増えています。

会社概要
住所：立川市錦町二丁目1-22
事業概要：ビジネンセンター等施設及び公共施設における指定管理、運営・インテリゲンス業務
従業員数：138名（男性52名、女性86名）

第一生命保険株式会社 立川支社



制度が使える職場へ、ずっと活躍し続けられる会社へ 全社一丸となった取り組み

制度を利用するには、利用やすい解があるのも大きいところです。この仕事がしたい! という思いが強い人が集まる職場だからこそ、様々なライフペントに直面してしまったときも手助けしてくれる職業作りを義務に考えてきました。女性も育児休暇を取るために育児について会話をあることで上司や部下に理解が進み、風土が醸成されてきました。特にキャリアアップが当り前の風土作りを進めています。

出前講習会から金員集会で実践する会社の取り組みや健康監視に興味がある方へ



立川市はワーク・ライフ・バランスの取り組み具体例

ワーク・ライフ・バランスの「休暇・休養制度」の整備による時間が決まりでいるため、優先順位をつけたりといった仕事に対する柔軟性が生まれます。一方で、時間外勤務による時間外勤務料の支給が得られない場合に、時間外勤務料の支給を加算しています。

過去の認定事業所紹介
・富士ゼロックス多摩株式会社
・医療法人財団立川中央病院
・国家公務員共済組合連合会立川病院
・株式会社アドクイントナショナル
・株式会社日本政府年金基金立川支店
・イケアジャパン株式会社 イケア立川
・帝銀法務事務所
・株式会社西伊藤一郎販売システム
・多摩信用金庫

会社概要
住所：立川市柴崎町二丁目3-6
第一生命ビル5F
事業概要：生命保険業
従業員数：520名（男性31名、女性489名）

制度はを実現していることで有名です。しかし、それらの制度が実際に使えてからどうかは各支社の取り組みが重要な要素になってきます。育児に直面する場合は、立川支社では不安な気持ちで直接相談することができるところから、育児休暇を共有したり、育休後に戻つて会話を直接伝えます。職場が醸成されることがあります。職場が醸成され、「これまでの育児経験が活用できる」という意識で、育休後に会話を直接伝えます。職場に復帰後には営業系が事務系とも相談しながら決めていくことで戻りやすい職場を作っています。

今は決まる時間が決まっています。上豆が取扱いの仕事で、以前出仕をしたときに仕事で困りました。外回りは地方に行き、仕事で困りました。そこで、時間外勤務料の支給を加算しています。

ワーク・ライフ・バランスの「休暇・休養制度」の整備による時間外勤務料の見直し。「働く時間の見直し」による時間外勤務料の見直しです。これまでの育児の協力も得ながら、時間外勤務料の支給を加算しています。

過去の認定事業所紹介
・富士ゼロックス多摩株式会社
・医療法人財団立川中央病院
・国家公務員共済組合連合会立川病院
・株式会社アドクイントナショナル
・株式会社日本政府年金基金立川支店
・イケアジャパン株式会社 イケア立川
・帝銀法務事務所
・株式会社西伊藤一郎販売システム
・多摩信用金庫

平成28年度 立川市ワーク・ライフ・バランス 推進事業所認定式 &セミナー開催!!

人材定着と生産性向上を実現する職場作りに向けて

産業構造、人口構造、そして私たちの生活スタイルが変化する中、
消費者や労働者のニーズも変化しています。
それらの変化を的確にキャッチし、多様な働き方で誰もが活躍で
きる職場づくりのモデルとなる事業所の紹介と、これからの職場
に求められる“イクボス”について学びます。

平成29年 2月3日 金 13:30~15:00
(受付13:15~)

プログラム

- 13:30 平成28年度立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所 認定式
平成28年度東京都女性活躍推進大賞優秀者の紹介
- 13:45 認定事業所の取り組み紹介
■株式会社自然教育研究センター
■第一生命保険株式会社 立川支社
■中村建設株式会社
- 14:10 ミニセミナー「人材定着と生産性向上を実現する職場作りに向けて
～キーワードはイクボスマネジメント～」
- 14:40 認定事業所によるパネルディスカッション



セミナー講師
セントワーカス株式会社
一之瀬幸生
株式会社ワーク・ライフバランス
加盟ワーク・ライフバランスコン
サルタント

東京都をはじめ全国の自治体、大手企業100社
以上、そして中小企業も続々とイクボス宣言を始め
ています。ではイクボスとは一体何? これからの上司
に求められるイクボスについてお伝えします。

場所 立川市女性総合センター5階 第3学習室

対象 企業経営者、人事ご担当者、その他ワーク・
ライフ・バランスや女性活躍に興味のある方
どなたでも

定員 60名(申込順)

保育 5名程度(1歳~学齢前・要予約)

お申込み 1月10日(火)より受付開始

お申込み・お問い合わせは 立川市男女平等参画課まで

TEL:042-528-6801 FAX:042-528-6805

☞ ワーク・ライフ・バランスの取り組みを進める企業が毎年度認定を受けています。あなたの会社も認定を目指しませんか？経営者、人事担当者はもちろん、働きやすい職場を求めている方もぜひお越しください。

現在までの立川市ワーク・ライフ・バランス推進 認定事業所



平成24年度

★富士ゼロックス多摩株式会社

★医療法人財団 立川中央病院

★国家公務員共済組合連合会 立川病院

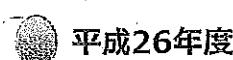
★株式会社アドックインターナショナル



平成25年度

★社会医療法人社団 健生会 立川相互病院

★株式会社日本政策金融公庫 立川支店



平成26年度

★イケア・ジャパン株式会社 イケア立川

★希望法律事務所

★東京西サトー製品販売株式会社

★株式会社いなげや



平成27年度

★株式会社テイルウインドシステム

★多摩信用金庫

教えて！

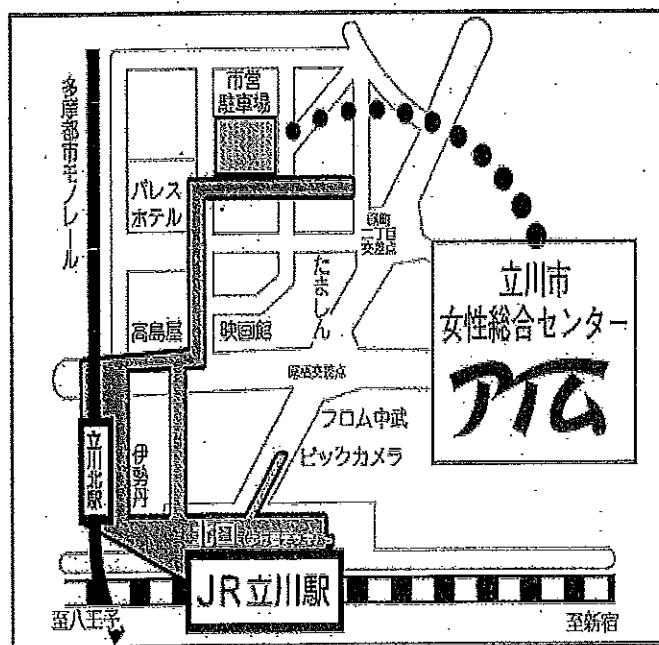
«立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度»



平成24年度第1回立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定式

ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活の調和の実現に向けた取組みです。立川市では、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内の事業所を認定しています。認定事業所には認定証を発行し、取組みについて市ホームページや市報等で広く紹介します。

来年度も認定事業所を募集します。応募方法やお問合せは立川市男女平等参画課へご連絡ください。



〔会場のご案内〕

立川市女性総合センター
立川駅北口より歩行者デッキを通り
徒歩7分
〒190-0012
東京都立川市曙町2-36-2
ファーレ立川センタースクエアビル5階
TEL:042-528-6801

主催 立川市男女平等参画課
企画・運営 セントワース株式会社



たちかわ創生総合戦略 事業実施結果シート

整理番号	13	戦略番号	3	戦略の方向番号	(1)	事業名	ウエディングシティ立川推進事業																
対応する戦略名	3. 強みを輝かせ、まちで暮らし働くしごとをつくる																						
対応する戦略の方向	(1)商工会議所や金融機関などとの連携強化や立川の都市特性を生かした創業、オンリーワンとなる産業の創出・育成、地域経済を支える中小事業者の持続的発展の支援を促進することで、地域に根ざした魅力あるしごとを創出します。																						
事業概要	ブライダル産業を戦略的に活性化させ、エリア外への流出に歯止めをかけ市内において結婚式を挙げるカップルを増やすとともに、ブライダルをキーワードにこれまで接点等がなかった市内の多様な産業同士をつなげ、新たなにぎわいの創出や地域経済の活性化を目指します。																						
事業実施状況	ブライダル関連産業が集積する立川市の強みを生かし、結婚式に関連する事業者で結成された「TAMAウエディング推進会」と協働しながら、「結婚式を挙げたいまち」として発信した。同推進会が作成・販売中の「Tama Wedding Box」のプロモーションや、映画「ハッピーウエディング」上映会・ウエディングクイーン募集事業・国営昭和記念公園での「たま夢婚」公開結婚式などの各種イベントを支援した。																						
地方創生の観点から事業実施により得られた効果※	「たちかわ創生総合戦略」における本事業の重要業績評価指標(KPI)																						
	指標名		市内結婚式場の利用件数																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>戦略策定時の値 (25年度)</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>31年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(確認中)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4,000 2016(平成28)年度～ 2019(平成31)年度累計</td> </tr> </tbody> </table>		単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値	件	-	-	(確認中)	-	-	4,000 2016(平成28)年度～ 2019(平成31)年度累計								
単位	戦略策定時の値 (25年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度目標値																	
件	-	-	(確認中)	-	-	4,000 2016(平成28)年度～ 2019(平成31)年度累計																	
ウエディング推進会が実施するプロモーション活動や各種イベント事業を支援することにより、立川市の強みであるブライダル関連産業が活性化し、多摩のイメージアップと広く集客を図ることで、にぎわいの創出につなげることができた。																							
上記効果に対し、地方創生の観点からの課題及び平成29年度の事業展開	課題	「Tama Wedding Box」の周知はまだ不十分であり、他のイベントも含め、継続的にプロモーションを支援していく必要がある。																					
	平成29年度	ウエディング推進会が実施するプロモーションや各種イベントを引き続き支援し、にぎわいの創出や地域経済の活性化につなげていく。																					

TAMA ウエディングクイーン 決定

TAMA ウエディングクイーン 催しました 第1回



第2代TAMA ウエディングクイーン 第2代TAMA ウエディングクイーン 第2代TAMA ウエディングクイーン
有田 美裕さん 小川 日菜さん 津田 花恋さん

まもなく、第2代TAMA ウエディングクイーンとしてデビューします！

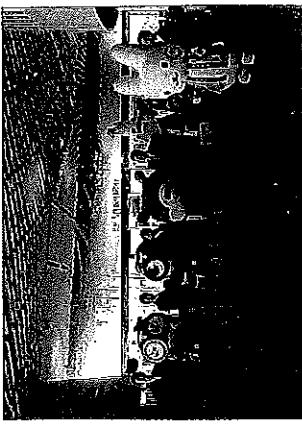
2月7日、立川市内で書類審査を通過したクイーン候補者が集まり、第2代TAMAウエディングクイーンの最終選考会が行われました。最終選考の結果、3名の第2代TAMAウエディングクイーンが決定しました。

TAMA ウエディング推進会では3月25日(土)国営昭和記念公園にて内木さんご夫婦の公開結婚式を行ないました。色々な事情で結婚式を挙げらなかつたご夫婦へ「結婚式をプレゼント」企画に15組を超える応事があり内木栄美さん・純子さんのご夫婦が選ばれました。

当日は晴天にも恵まれ、清水庄平立川市長の立ち合いのもと素晴らしい結婚式となりました。初代ウエディングクイーンによるドレスショー・音大生による演奏やボーカルがさらには場を盛り上げました。バルーンセレモニーでの150個もの風船が大空を舞う光景がとても印象的な結婚式となりました。



「ウエディングクイーン」として、さまざまなおイベントを通じ、多摩エリアの魅力。ホームタウンウエディングの魅力を全国に向けて発信していきます。



TAMA「ウェディング推進会 活動報告・実施報告

結婚アカデミー「結婚から人生を理解する」開催しました

子どもたちの視点から結婚式、結婚文化を理解し大切さを理解するためのイベント、「TAMA ウエディング推進会主催の「結婚アカデミー・結婚が大切な理由」が、3月11日立川グランドホテルで開催されました。

講師で学ぼう！『ウェディング・キャロル』

たちかわ創造舎による「クリスマスキャロル」を原案にしたよしひがい、「ウェディング・キャロル」。子どもたちもフラワーガール、プライズメイドとして結婚式に参加しました。親子で楽しい時間を過ごしました。



結婚アカデミー「結婚から人生を理解する」開催しました

イベントプロデュース安藤徳子氏による女性が輝き続けるためのお役立ちセミナーへ結婚は女性を磨き続ける～結婚で磨かれる5つの魅力～が3月15日、壽屋ホールで開催されました。

花嫁の美しさの秘訣を理論的に解説

どうして花嫁さんはきれいなの？それにはちゃんとした理由があります。5000人以上の花嫁さんと直接接觸したリシング、6万人以上のカップルのデータを基に生まれた、「花嫁が美しい理由メソッド」。結婚してもしなくても、その秘密を知るだけで、長く続く美しさを手に入れれる事ができます。このプログラムを終了すると、それがからもずっとキレイを維持できるようになります。



2016年4月
第一回定期総会開催

2016年8月
ウエディングサミット 2016 IN 目黒雅叙園①

2016年9月
映画「ハッピーワエディング」上映会開催②③

2016年10月
広報誌ウエディングアイ第2号発行
2代目ウエディングクイーン募集

2016年12月
TAMA ウエディング 研修会④

2016年11月
「たま夢婚」公開結婚式 募集スタート
いい夫婦の日 PR (立川市役所)



⑤



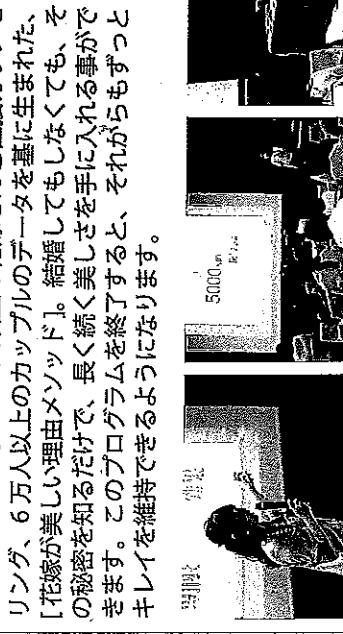
⑥



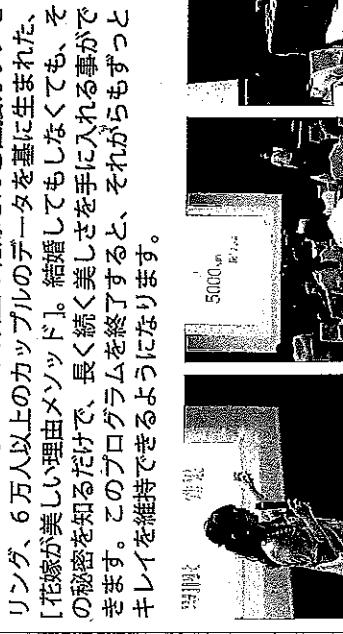
⑦



⑧



⑨



⑩

Tama Wedding Box

タマウエディングボックス

2/14発売

価格 3,000円（税込）

結婚式までの準備が
もっと楽しい思い出に…

Box
エレガントな金色の
箔押しを施した
ピザのようなBox

開けた瞬間からわくわく。
結婚式までの樂しさ、
ぎゅっと詰めました。

FILE

結婚証明書と便箋を
入れて一生の思い出に

BOOK

結婚式までに必要な
ことが確認でき
写真を貼れば二人だけの
アルバムに

結婚式までの準備がもっと楽しく、思い出に残る
ものになるように、TAMAウエディング推進会は
Tama Wedding Boxを作りました。招待状
やドレス、披露宴の料理など、結婚式の準備を二人
の楽しい思い出にしませんか。くわしくは
「Tama Wedding Box」ホームページ
をご覧ください。[右2次元コードからアクセス可]

TAMAウエディング推進会事務局(立川グランドホテル
内)☎042(525)1211、立川市企画政策課・内線2687



プレミアム婚姻届

立川市オリジナルの婚姻届も好評発売中
です。販売場所等、くわしくは
「立川市プレミアム婚姻届」の
ホームページをご覧ください。
[右2次元コードからアクセス可]



立川市
プレミアム婚姻届

花が刺繡された便箋で
大切な人へのメッセージを



好評発売中

結婚証明書

金色の箔押しを施し
エレガントに
自分で刺繡をする
こともできます



プレミアム婚姻届